

2015年環境取り組みプラン（目標と実績）

世界から信頼される商用車メーカーを目指して

日野自動車は、2011年度から2015年度までの環境への取り組み実行計画として、「2015年環境取り組みプラン」を策定しました。この実行計画では今後予想される社会動向を踏まえ、社会の生活基盤を支える商用車メーカーとして、積極的に環境課題に対応していくため、次の4つの枠組みで21項目の目標を設定し、活動を推進していきます。

■「2015年環境取り組みプラン」の枠組み



■ 2015年環境取り組みプラン

枠組み	分野	項目	具体的な実施事項・目標等	2013年度 実績														
低炭素社会の構築	開発・設計	エネルギー多様性をふまえた次世代車の開発と普及促進	電気エネルギー <ul style="list-style-type: none"> HV(ハイブリッド車)：新型HV車を開発し市場投入 IPS(非接触給電)：実用化に向けたIPSバスの開発 FC(燃料電池)：FC車の研究と開発 代替燃料 <ul style="list-style-type: none"> 新燃料：GTL燃料対応車の研究と開発 バイオ燃料：バイオ燃料対応車の研究と開発 	<ul style="list-style-type: none"> 西濃運輸株式会社殿と協力して、電動小型トラックの実証運行を開始。 外部給電機能付で災害時には避難所等への電力供給が可能な、中型プラグインハイブリッドバスを開発。 小型EVバスが、東京都墨田区、羽村市に続き、石川県小松市で、定期路線として運行開始。 														
		各国、各地域でトップクラスの燃費性能を目指す開発と各国基準への対応	<ul style="list-style-type: none"> 世界トップクラスの燃費水準の達成を目指した技術開発 <ul style="list-style-type: none"> 日本：平成27年度燃費基準の確実な達成 米国：2014年新大型燃費/温暖化効果ガス基準の達成 欧州：次期規制に向けた燃費向上技術の開発推進 中国：新燃費基準の着実な対応 その他の地域：燃費規制に対する対応技術の推進 	大型トラックの燃費性能を向上させ、「平成27年度燃費基準値+5%」を達成※。 平成21年排出ガス規制NOx、PM10%以上低減と合わせ、現行工コカー減税において、75%減税対象。 ※：一部の車種を除く。														
	生産・物流	生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素型生産体系構築に向けた全社活動の推進 低CO₂生産技術の積極導入と日常改善によるCO₂低減活動 省エネ革新技術の導入 ■ エネルギー起源CO₂ <table border="1" data-bbox="507 1070 1104 1330"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>15年目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グローバル</td> <td></td> <td>08年度比20%減</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">国内連結</td> <td>台当たり排出量</td> <td>08年度比28%減</td> </tr> <tr> <td>日野</td> <td>08年度比24%減</td> </tr> <tr> <td></td> <td>排出量</td> <td>15年度原単位目標 × 活動量</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	15年目標	グローバル		08年度比20%減	国内連結	台当たり排出量	08年度比28%減	日野	08年度比24%減		排出量	15年度原単位目標 × 活動量	■ グローバル <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量 08年度比 21%低減 ■ 国内連結 <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量 08年度比 24%低減 ■ 日野 <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量 08年度比 20%低減 <ul style="list-style-type: none"> 排出量 2013年度排出量 218千t
	地域	項目	15年目標															
グローバル		08年度比20%減																
国内連結	台当たり排出量	08年度比28%減																
	日野	08年度比24%減																
	排出量	15年度原単位目標 × 活動量																
物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 輸送効率の一層の向上によるCO₂低減活動の推進 <table border="1" data-bbox="531 1397 1099 1543"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>15年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>輸送量当たり排出量※</td> <td>08年度比 15%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">目標管理と各国トップレベルの活動</td> </tr> </tbody> </table> ※輸送量…荷量 (ton) × 輸送距離 (km)	地域	項目	15年度目標	国内連結	輸送量当たり排出量※	08年度比 15%減	海外	目標管理と各国トップレベルの活動		■ 国内連結 <ul style="list-style-type: none"> 輸送量当たり排出量 08年度比 18%低減 ■ 海外 <ul style="list-style-type: none"> 各国個別に低減活動推進中 							
地域	項目	15年度目標																
国内連結	輸送量当たり排出量※	08年度比 15%減																
海外	目標管理と各国トップレベルの活動																	
販売	販売分野における省エネ活動の徹底とCO ₂ 排出量の低減	<ul style="list-style-type: none"> 国内外販売拠点における日常改善、各種事例の横展開による省エネ活動の徹底 ⇒ 年率1%以上の計画的なエネルギー原単位の低減 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ型照明の導入、圧縮エアの漏れ防止等により削減 ⇒ 総整備台あたりエネルギー原単位前年度比4.6%低減 															
社会との連携	気候変動政策への積極的な貢献と発言	<ul style="list-style-type: none"> 経団連、自動車工業会等を通じた低炭素社会構築への取り組み推進 <ul style="list-style-type: none"> 環境政策議論、枠組み作りへの参画 自動車工業会等と連携した統合的取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 自工会各委員会、部会への参加 (安全環境技術委員会・環境委員会ほか) 															
道路交通セクター (運輸部門) における統合的なCO ₂ 削減取組	<ul style="list-style-type: none"> IT、ITS技術を活用した交通流改善への取り組み貢献 エコドライブ啓発活動への取り組み推進 <ul style="list-style-type: none"> 国内・海外販社での講習実施 お客様へのエコドライブ認定証の発行拡大 お客様の使い方に応じた物流効率の高い車型の開発 	<ul style="list-style-type: none"> お客様に対するエコドライブ講習実施 13年度受講者数 国内：7,461名 海外：14,553名 交通エコモ財団認定 受講修了証を2,996枚発行 物流効率の高い車型の開発推進 																

枠組み	分野	項目	具体的な実施事項・目標等	2013年度 実績																																	
循環型社会の構築	開発・設計	資源の有効利用に配慮したリサイクル設計の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> 解体性を考慮した、取り付け構造への取り組み リサイクル材使用部品の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル材や、リサイクルしやすい材料の積極的採用。 解体マニュアルの整備。 																																	
	生産・物流	生産・物流における排出物の低減と資源の有効利用	<p>排出物・最終処分量</p> <ul style="list-style-type: none"> 切粉および廃砂の社内リサイクル率向上等による社外排出物低減 国内連結での最終処分量ゼロ化 <table border="1" data-bbox="507 562 1098 748"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>対象</th> <th>項目</th> <th>15年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国内連結</td> <td>排出物※1</td> <td>台当たり発生量</td> <td>08年度比 18%低減</td> </tr> <tr> <td>最終処分量</td> <td>ゼロ※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td>廃棄物</td> <td colspan="2">各国トップレベルの低減活動の推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：有価物を含む廃棄物の社外排出量 ※2：焼却灰も含めた埋立処分量が、廃棄物等総排出量（廃棄物量+リサイクル量）の0.5%以下</p> <p>梱包包装資材</p> <ul style="list-style-type: none"> リターナブルラック使用対象国拡大 補給部品リターナブルラック使用の拡大 <table border="1" data-bbox="507 981 1098 1128"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>15年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>出荷容積当たり使用量</td> <td>08年度比 48%低減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">梱包資材使用量の把握と低減活動拡大</td> </tr> </tbody> </table> <p>水使用量</p> <ul style="list-style-type: none"> 省水技術の積極導入 日常改善による節水推進 <table border="1" data-bbox="507 1285 1098 1433"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>15年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内連結</td> <td>台当たり使用量</td> <td>08年度比 22%減</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">各国で個別に目標管理し、継続的に水使用量低減</td> </tr> </tbody> </table>	地域	対象	項目	15年度目標	国内連結	排出物※1	台当たり発生量	08年度比 18%低減	最終処分量	ゼロ※2		海外	廃棄物	各国トップレベルの低減活動の推進		地域	項目	15年度目標	国内連結	出荷容積当たり使用量	08年度比 48%低減	海外	梱包資材使用量の把握と低減活動拡大		地域	項目	15年度目標	国内連結	台当たり使用量	08年度比 22%減	海外	各国で個別に目標管理し、継続的に水使用量低減		<p>排出物・最終処分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国内連結 <ul style="list-style-type: none"> 排出物 台当たり発生量 08年度比 29%低減 最終処分量 0.15% ■ 海外 <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物 各国個別に目標設定し低減推進 <p>梱包包装資材</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国内連結 <ul style="list-style-type: none"> 出荷容積当たり使用量 08年度比 48%低減 ■ 海外 <ul style="list-style-type: none"> 各国個別に低減活動推進中 <p>水使用量</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 国内連結 <ul style="list-style-type: none"> 台当たり使用量 08年度比 35%低減 ■ 海外 <ul style="list-style-type: none"> 各国個別に目標設定し低減推進
	地域	対象	項目	15年度目標																																	
国内連結	排出物※1	台当たり発生量	08年度比 18%低減																																		
	最終処分量	ゼロ※2																																			
海外	廃棄物	各国トップレベルの低減活動の推進																																			
地域	項目	15年度目標																																			
国内連結	出荷容積当たり使用量	08年度比 48%低減																																			
海外	梱包資材使用量の把握と低減活動拡大																																				
地域	項目	15年度目標																																			
国内連結	台当たり使用量	08年度比 22%減																																			
海外	各国で個別に目標管理し、継続的に水使用量低減																																				
販売・リサイクル	<p>資源有効利用のグローバルな推進強化</p> <p>グローバルな自動車リサイクル法への対応推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な解体方法、ツールの開発とグローバルな情報提供 グループ内での中古部品利用拡大に向けた取組推進 日本：リサイクル率トップレベルの維持と、法改正への適切な対応 中国、新興国：各国法規への適切な対応 	<ul style="list-style-type: none"> 国内：2013年度ASRリサイクル率97% 海外：ELV法規への対応推進 																																		

枠組み	分野	項目	具体的な実施事項・目標等	2013年度 実績										
環境保全と自然共生社会の構築	開発・設計	各国・各地域の都市大気環境改善に資する排出ガス低減	<ul style="list-style-type: none"> 各国、各地域の都市大気環境改善に資する低排出ガス車の導入 <ul style="list-style-type: none"> - 日本：ポスト新長期規制対応車を継続して市場導入 2016年以降の次期排ガス規制の対応技術の研究開発 - 米国：US10適合車の市場導入 - 欧州：次期規制EURO6の研究開発と対応 - 中国：EURO5レベルの導入推進 - 一般国：低排出ガス車（EURO3、4レベル）の導入推進 	<ul style="list-style-type: none"> 2016年以降の次期排出ガス規制に向けた、排出ガス低減技術の研究及び、将来エンジンに対する要素技術の確立。 										
		製品含有化学物質の管理充実	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな製品含有化学物質管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> - 製品に含有される多種類の化学物質管理の徹底 - 環境負荷のより少ない物質への代替技術の開発と代替推進 	<ul style="list-style-type: none"> 製品含有化学物質の情報管理を充実させ、規制物質への早期対応を実施。 										
	生産	生産活動における環境負荷物質の低減	<ul style="list-style-type: none"> 日常改善によるVOC低減活動を推進 <p>ボデー塗装</p> <table border="1" data-bbox="507 716 1101 862"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>項目</th> <th>15年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日野</td> <td>塗装面積当たりVOC 排出量</td> <td>12年度以下</td> </tr> <tr> <td>海外</td> <td colspan="2">各国トップレベルのVOC排出量低減活動を展開</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他塗装</p> <table border="1" data-bbox="507 952 1101 996"> <tbody> <tr> <td>国内・海外</td> <td>VOC排出量低減活動を展開</td> </tr> </tbody> </table>	地域	項目	15年度目標	日野	塗装面積当たりVOC 排出量	12年度以下	海外	各国トップレベルのVOC排出量低減活動を展開		国内・海外	VOC排出量低減活動を展開
地域	項目	15年度目標												
日野	塗装面積当たりVOC 排出量	12年度以下												
海外	各国トップレベルのVOC排出量低減活動を展開													
国内・海外	VOC排出量低減活動を展開													
社会との連携	生物多様性への取り組み 自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 各国、各地域での周辺生態系配慮の実施 従業員の生態系保全への意識向上とボランティア活動等の促進 （「日本経団連生物多様性宣言」に基づく活動推進） 	<ul style="list-style-type: none"> 各国、各地域で周辺生態系を配慮した取り組み実施 <ul style="list-style-type: none"> - 日野 - 青梅市内での植樹活動 - 日高、古河 - ヤギによる除草 - 古河 - 周辺河川での生態系調査 - インドネシア - 海岸清掃 											

枠組み	分野	項目	具体的な実施事項・目標等	2013年度 実績
環境経営	マネジメント	連結環境マネジメントの強化、推進	<ul style="list-style-type: none"> 各国、各地域でのトップレベルの環境パフォーマンス確保に向けた活動の実施 各国、各地域での環境法令の順守と環境リスク未然防止活動の強化 海外生産拠点でのエリアマネジメント体制の導入と合理的な取り組み推進 国内生産拠点での各社相互監査による環境マネジメントレベルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> 国内外関連会社の環境パフォーマンスおよび改善事例をレポートへまとめ定期発行 国内外関連会社でのエコファクトリー活動推進 海外生産拠点6社を召集し、グローバル環境会議を本社で開催 国内生産拠点で相互研鑽会や相互監査会を開催し、「見せる、見合う」ことにより相互のレベルアップをはかった
		ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 仕入先：仕入先における順法対応と部品、原材料、副資材、生産設備等に含まれる環境負荷物質の管理充実および環境パフォーマンス活動の要請 国内販売：販売会社環境マネジメントシステムによる環境活動の推進 海外販売：環境意識啓発活動の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仕入先 <ul style="list-style-type: none"> グローバルな化学物質規制の強化をにらみ社内管理体制を強化運用を開始 ■ 国内販売 <ul style="list-style-type: none"> 全国221拠点にて環境改善活動を実施⇒改善・是正を支援 216拠点をEMDに認定（前年差+3拠点） ■ 海外販売 <ul style="list-style-type: none"> 海外非生産拠点との月次データ共有 6月環境月間に合わせ、意識啓発活動を実施
		グローバルなCO ₂ マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動全般におけるCO₂マネジメントの企画と推進 	国内外各生産拠点での削減シナリオに沿った活動を推進し、合計原単位改善
		製品開発における環境マネジメント ECO-VASの推進	<ul style="list-style-type: none"> 開発段階での車両環境アセスメントシステム（ECO-VAS）による環境目標管理の着実な推進 	<ul style="list-style-type: none"> 車型別LCA評価の推進
		サステイナブル・プラント活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 自然と調和する工場づくり ⇒ 低CO₂生産技術の積極導入、日常改善、再生可能エネルギーの活用、工場の森づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 工場建設時における低CO₂生産技術の導入
		環境教育活動の充実と推進	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の環境意識向上に資する環境教育の体系的な実践 従業員の環境意識の調査の継続実施と、結果に基づく意識向上への仕掛け トヨタグループで一体となった環境月間活動のグループ展開 	<ul style="list-style-type: none"> e-ラーニングによる環境教育の実施。階層別教育、ISO内部環境監査教育、ISO内部環境監査テストを実施 階層別教育の計画的実施 社長メッセージの展開 環境展、表彰等を実施 社内エコポイント制度、表彰等を実施
		環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各国、各地域での製品環境技術情報の提供充実（各種展示会への出展等） 各国、各地域でのCSRレポート等の発行継続と発行拠点の拡大 各国、各地域での環境コミュニケーション活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 東京モーターショー、東京トラックショーや、人とくるまのテクノロジー展にて、EV商用車等の環境技術を紹介。 「尿素を必要としない中小型ディーゼル車用NO_x、PM後処理システム」が、第11回新機械振興賞、経済産業大臣賞などを受賞。 国内外連結子会社4社でCSRレポート発行 国内外連結子会社で地域住民とのコミュニケーションを推進中